

平成 22 年度高大連携・学問探検ゼミの成果発表会を開催しました

2011年2月4日に「教育GP」の中核事業である「学問探検ゼミ」の成果発表会が大分大学経済学部202号教室にて開催されました。当日は市内の大分鶴崎・大分南・大分雄城台の3校から生徒134名、本学経済学部2年生10名、高大の教員22名、外部評価委員1名、合計167名の参加者がありました。

平成21年後期に開講した本ゼミには、大分鶴崎・大分南・大分雄城台の3校から13名の高校生が3つのゼミに分かれて参加していますが、その中の1つである宮町ゼミの報告会として行われました。宮町ゼミには大分鶴崎・大分雄城台高校から8名、本学経済学部2年生10名が参加しており、高大の教員5名が指導に当たりました。

当日は下田経済学部長の挨拶に続いて宮町学長補佐による学問探検ゼミについての説明がなされた後、パワーポイントを使った4グループの発表が行われました。発表のテーマは「スポーツで大分に元気を!」、「高速道路無料化を斬る」、「大分県が光り輝くために」、「ユニクロはなぜ売れるか?」で、いずれも大分県の活性化を目指した斬新な内容でした。発表後に来場者との活発な質疑応答が行われ、テーマの選定から報告会に至る経緯が披露されました。

閉会行事では宮町学長補佐と青野准教授から受講生に修了証書が授与されました。最後に甲斐特任教授（高大接続コーディネーター）から、発表会の講評と本ゼミの意義が述べられ盛況のうちに閉会となりました。

受講生に対するアンケート結果によれば、「授業に意欲的に取り組んだ（高校生100%、大学生100%）」、「高大の学生と一緒に良かった（高校生100%、大学生100%）」、「授業の内容は興味持てる内容で合った（高校生90%、大学生100%）」、「総合的に判断して授業は良かった（高校生100%、大学生100%）」、来場した高校生に対するアンケート結果によれば、「発表内容は興味持てる」（84%）、「総合的に判断して今日の発表会は良かった」（96%）等の評価が得られました。

